十一月例会を終えて

長岡　秀明

今回の例会は久々のリアル例会で私の参加した例会の中では私自身が入会した今年の賀正以来のような気がします。

今回の例会の内容は今流行りの『SDGs（持続可能な開発目標）』をゲーム感覚で体験するというものでした。

残念ながら、私は諸事情で遅参になってしまい最後のグループディスカッションしか参加できずとても残念でした。

ディスカッションで皆さんの話を聞いていて思ったことですが、サステナブルってすごくエネルギーのある言葉だと思いました。人間・社会・地球環境の持続可能な発展に導く意味を持つ言葉なのだから。

私自身、SDGsは少し前から知っており当社でも少しずつ取り入れてはしているのですが、従業員には中々届かない、響かないと言うのが現状です。周知し続けると言うのも大事ですが、今回の例会を通じて響かせるヒントを得た気がします。

十一月例会に参加して

賛助会員　堀内　勇示様

この例会に参加するまで、SDGsは持続可能な開発目標という意味は知っていましたが、十七の世界的目標までは理解していませんでした。特にサステナビリティって何？という程度でした。冒頭の川口会員の説明はわかりやすく、これだけでも例会に参加した意味があります。そのあとのカードゲームでは、経済・社会・環境の世界の状況がどのようにメーターがどのように変化していくのか、とても興味深い内容でした。前半、与えられたゴールを目指すだけでは経済が発展し環境・社会が置き去りにされていく。昔の高度経済成長時代だったのであれば、このような時代だったのであれば、と感じました。後半、環境・社会を意識し行動していくだけでも、この3つがバランスよく発展することが理解できました。

そして、久しぶりにフォレストイン昭和館様の食事を堪能できたことは、とても嬉しかったです。いつ食べても美味しいですね。

最後に、佐藤部長を始め経営研究部会の皆さま、大変お疲れさまでした。とても勉強になる手作り例会をありがとうございました。

十一月例会に参加～SDGsを体験して～

賛助会員　北方　伸幸様

この度、AIJ例会に賛助会員としてリアル参加させていただき、まず感じたことは三十代・四十代前半中心のメンバーがアイデアと出し合い、経験を共有することにより企業と地域の発展に対して力を出し合い活動するエネルギーを感じました。

今回は国連でも目標に掲げているSDGsの世界を体験できるということで私自身も非常に興味深く、楽しみにしての参加でした。何故ならば現在、メディアや雑誌等、一般的にもSDGsという言葉や文字そしてジングルは良く目や耳にしますが、中身は何も把握できていない状態だったからです。

SDGsとは社会貢献活動や環境問題への取り組みくらいしか想像できていませんでした。しかし、実際にゲームを通してSDGsの世界を体験しての結果は、一つの国が、そして一つの基準をいくら達成してもすべて国が手を取り合ってバランスよくそしてなによりもやり続けていきが持続可能な世界を実現してきたいと願います。その為に、とても小さなことですが私自身そして中小企業でも出来ることが沢山あります。実現に向け行動します。